



志岐高便り

第154号

発行責任者
平山 啓一



携帯
サイトへ

長崎県立志岐高等学校

長崎県志岐市郷ノ浦町片原触88

[TEL]0920-47-0081

[HP] <http://www2.news.ed.jp/section/iki-h/>

巻頭言

「意味を正しく理解する」

校長 平山啓一



球児たちの夏が終わりました。100回の記念大会は、大阪桐蔭高校の2度目の春夏連覇という、史上初の偉業で幕を閉じました。惜しくも敗れましたが、秋田金足農業の大躍進は、地方の同じ公立高校として大変誇らしいものでした。本校も含め、全国で3780もの学校が敗北を味わいましたが、若者の一生懸命は結果以上に大切なものを多くの人の心に残したことでしょう。

一方で、「50年に一度」が飛び交った異常な夏は、各地に数多くの爪跡を残しました。西日本豪雨災害をはじめ、各地で被災された方々が一日も早く普通の生活に戻れますことをお祈り申し上げます。

さて、志岐高校の夏は慌しく過ぎました。4日間のスタディキャンプで、長時間の勉強に挑んだ1年生。文理分かれて、志岐を素材に課題研究へ取り組んだ2年生。3年生は学習合宿等で、第1志望に向けて懸命に取り組みました。2学期は就職や公務員を皮切りに、AO・推薦等、いよいよ本番の試験が始まります。この夏の努力が必ずや結実するものと信じています。

東アジアコースでは、上海語学研修や島外の歴史遺産を巡る研修がありました。中国語や歴史学をこれほど専門的に学ぶ環境があることは、本校の誇りです。余談ながら、私も姉妹校である上海光明中学校との交流を見てきました。笑顔で交流する両校の生徒たちの姿は、異なる価値観をもつ人々と協働する、これからの社会を感じさせるものでした。

ところで、これからの社会には別の側面があります。何といたっても「AI(人工知能)」の進化です。今でも、エアコン、掃除ロボット、自動運転、ドラえもん・・・、(これはまだでしたか)みんなAIです。AIの活用は、今後ますます広がるでしょう。人はAIとうまく共存していかなければなりません。一方で、AIは人から職業を奪うとも予想されています。では、AIにできない仕事とは何でしょうか? AIの弱点について、国立情報学研究所の新井紀子教授は、「万を教えられて一を学ぶ、応用が利かない、柔軟性がない、決められた枠組みの中でしか処理できない、つまり『意味を理解しない』」と指摘します。

私は2学期の開始式で、生徒の皆さんに「教科書に書いてあることは、読めば理解できますか?」と問いました。2030年頃の社会は「超スマート社会(Society5.0)」と呼ばれますが、その頃には複数の仕事をこなすための学び直しが当たり前になるそうです。ここでは、新たなことを自分で勉強できるための『読解力』が求められます。簡単には、教科書を読んで意味を正しく理解する力です。

物事の「意味を正しく理解」する力と、人の一生懸命に心動かされる感性。AIには難しい力をもつ人間の可能性に期待します。

各学年団から

第 3 学 年 よ り

この夏、進学希望者は、日田で一週間の学習合宿に参加しました。1日11時間の学習時間に恐れおののいていた生徒も少なくありません。ここで、生徒の感想をご紹介します。「自分の集中力のなさが、よくわかった」「何回質問に行ったか分からないぐらい、質問に行った。先生、感謝しています」「一生懸命勉強している仲間がいて、やる気が出てきた」「壱岐に戻ってから、気を抜いて勉強しては合宿の意味がない」等、日常生活では感じられないことがあったようです。また、公務員志望者は、まもなく始まる試験に向けてひたすら演習を繰り返し、島外の夏季講習に参加しました。就職・専門学校志望者は、面接練習に意欲的に取り組みました。さらに、上海研修や歴史の研究発表大会に参加した生徒もいます。

「背伸びしなきゃ見えない景色がある。」ここで見た景色が、次なる目標につながります。進路実現、自己実現に向けて、71回生一丸となって取り組んでいきましょう。

第 2 学 年 よ り

今年の夏は、普通コースでは「iプロジェクト（文系は地域創生実習、理系は海洋生物観察実習）」、東アジアコースでは「上海研修」「歴史学巡検」が行われました。その他にも、韓国の高校生との交流事業「新朝鮮通信使」や「上海外国語大学のサマーキャンプ（中国研修）」「シンガポール語学研修」、「看護体験」など、将来の進路を見据えた活動に積極的に参加し、充実した夏を過ごした生徒もいます。また、多くの生徒が「オープンキャンパス」に参加し、将来の進路をより具体的にイメージできるようになったのでは

ないでしょうか？その進路の実現のためにも、2学期は学力の向上にぜひ努めてほしいと思います。部活動においては、2年生が中心となって日々の活動に熱心に励んでいるようですので、精神的にもより成長してくれるものと期待しています。

まだまだ暑い日が続きますが、2学期は体育祭、文化祭、中間テスト、新人戦、校外模試と行事が続きます。ぜひ、学級・学年・学校・保護者が一体となって、頑張っていきましょう。2学期もよろしくお祈りします。

第 1 学 年 よ り

夏休みの間、普通コースでは「Study Camp」東アジアコースでは「上海語学研修」「歴史学巡見」や「中国語サマーキャンプ」が行われました。Study Campでは、「長時間の学習は辛かったが、仲間とともに頑張ることができ、自信になった。」「質問に行くことで理解が深まり、さらに学習したいという意欲がわいた」と、学習に対する意識の変化が見られ、有意義なものになったようです。また、東アジアコースの研修では、「博物館で多くの文化的遺産を見ることができ、有意義な研修になった。」「中国の文化に触れることができ、世界が広がった。」と貴重な経験ができたようです。

2学期の学習は、1学期よりさらに深みが増し、学校行事としても体育祭や文化祭、校内駅伝大会などがあります。また、部活動では、各地区の新人戦などが行われ、生徒たちにとっては忙しい学期になりますが、ここを全力で乗り切ることで大きく成長することでしょう。73回生の2学期が実り多きものになるよう学年全体で頑張っていきましょう！

胡先生コラム『白湯』

連日暑い日が続きますね。ある時「中国人はなぜ、熱いお湯を飲むのが好きなのですか？」と留学生の友達に聞かれたことがありました。確かに、世界中にこれほどお湯にこだわっているのは中国人だけなのかもしれません。理由の一つは衛生面です。中国人は昔から川水や井戸水を飲んで、お腹を壊したり伝染病にかかったりしたことが多くありました。ですから水を沸騰させて消毒してから飲むようになりました。そして現代になっても、水道水は直接飲めないで、一回沸かして飲むのが普通になりそれが習慣になりました。二つ目の理由は、中国医学の観点からの影響です。中国医学は、冷たい水は寒気を体に入れ、体内の陰陽の均衡を崩し、いろんな病気を起こすことになるため、健康で長生きするには、お湯で体の暖かさを保つことが大事であるとしています。多くの中国人にとって、熱いお湯やお茶を飲むことは、百の病の予防に繋がる大切なことなのです。

各分掌から

進路指導部 より

7月下旬～8月は、様々な進路行事が行われました。1年生は校内Study Camp。長時間の自学力を鍛え、不明な点を教科担当者にすぐ尋ねることで、分かるという感覚や学習の面白さを実感しました。閉講式では沖田学年主任による全力あいさつがあり、73回生の一体感がますます高まったようです。

夏季休業期間の学習状況はいかがだったでしょうか。2年生は、iプロジェクトで地域創生実習・海洋生物観察実習に取り組みました。地域の皆様や長崎大学水産学部の協力をいただき、杵岐の現状や今後の課題を考え、地元を思う気持ちを一層強くしたようです。3年生は日田学習合宿を実施しました。71回生は大きな病気もなく、自学の態度も良好、質問にも大変積極的であり、合宿自体は成功といえるものでした。しかし、この合宿で身につけた学びの態度を、今後学校でも継続できるかどうかで入試の成否が決まるのではないのでしょうか。保護者の皆様の叱咤激励をお願いいたします。



3年「学習合宿」



2年理系「海洋生物観察実習」



2年文系「地域創生実習」



1年「Study Camp」

9月行事予定

①1年 ②2年 ③3年

1	土	体育祭 就職出願開始③
2	日	公務員国家一般③
3	月	体育祭予備日 文化祭準備①②(午後)
4	火	文化祭準備①②(午後)
5	水	文化祭準備①②(終日)
6	木	【代休9/8】
7	金	文化祭準備①②(午前) 文化祭(午後)
8	土	文化祭
9	日	
10	月	論理コミュニケーション②
11	火	
12	水	
13	木	LHR(後期自治委員選出)
14	金	
15	土	★①② 進研マーク模試③ 就職試験開始③
16	日	進研マーク模試③ HSK②③
17	月	【敬老の日】
18	火	
19	水	
20	木	LHR(後期自治委員任命) 考査時間割発表 情報教育
21	金	
22	土	
23	日	【秋分の日】
24	月	【振替休日】
25	火	職員胃検診
26	水	職員胃検診
27	木	中間考査②③ 受験用写真撮影③(冬服) [1日目]
28	金	中間考査①②③ 受験用写真撮影③(冬服) [2日目]
29	土	
30	日	中国語スピコン③(京都)

上海研修・歴史巡検

〈上海語学研修〉

7月23日(月)から8月6日(月)までの2週間に渡り上海中国語研修が行われました。上海外国語大学での講義、大学生との交流、日本企業での研修、姉妹校上海市光明中学との交流など、様々な経験を通して、生徒たちは中国語の力を高めることは勿論、人間的にも大きく成長しました。今後は文化祭での報告、スピーチコンテスト、検定試験の取得を目指して益々精進してまいります。今後の中国語専攻生の活躍にご期待ください！



〈歴史学巡検〉

歴史学専攻の1・2年生が、歴史学の専門性を高めるために、遺跡や博物館などを巡検しました。2年生は萩・京都、1年生は福岡・長崎を訪問しました。

〈2年生 萩・京都巡検〉

7月30日(月)～8月3日(金)萩・京都で巡検を行いました。幕末の新撰組の関連史跡や「明治日本の産業革命遺産」の構成資産などを巡りました。この巡検の内容をまとめて、文化祭の発表にまでつなげたいと思います。また、同時進行で論文発表など多忙ではありますが、これから歴史学メンバーの力を合わせて、頑張りたいと思います。



〈1年生 福岡・長崎巡検〉

7月23日(月)～7月27日(金)まで、福岡・長崎で巡検を行いました。世界遺産として登録された大浦天主堂では、キリシタン博物館研究部長の大石一久先生に解説をしていただき、普段入ることのできない旧羅典神学校の内部まで見せていただき貴重な体験をすることができました。

文化祭では学んできた内容をしっかりとまとめ、発表したいと思います。

「第1回東アジア歴史・中国語コース体験入学」

8月17日(金)、18日(土)に東アジア歴史・中国語コースの第1回宿泊体験・体験入学が行われ、今年度は30名を超える多くの皆様にご参加いただきました。ご参加いただいた皆様、誠にありがとうございました。行き届かない点多々ございましたでしょうか、僅かなりとも皆様のお役に立つことができましたら、幸いに存じます。本当にありがとうございます。また、11月3日(土)、4日(日)には第2回宿泊体験・体験入学を予定しております。今回、ご参加が難しかった方、また今回参加いただいた皆様につきましても、ご参加をお待ちしております。詳細につきましては、後日ホームページ等でご紹介させていただきます。また学校見学等につきましては、随時ご対応させていただきます。ご不明な点等ありましたら、ご遠慮なくお申し付けください。